

ニッケルカルボニル

Nickel carbonyl



1. 別名

テトラカルボニルニッケル
ニッケルテトラカルボニル

2. 性質

液体，無色，特異臭

分子量；	170.75	比重；	1.356
蒸気密度；	5.86	沸点；	42.3
蒸気圧；	42.8kPa(蒸気濃度：42%)		
下部引火点；	- 20		
爆発範囲；	2 ~ 34%	発火温度；	60
溶解性；	不		
許容濃度；	日本0.001ppm 米国0.05ppm(TWA)		
管理濃度；	0.001ppm		

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 火災・爆発の危険あり。気中で酸化し，60 で爆発する。

人体への影響； 吸入直後の初発症状と，12 ~ 36 時間後に現れる遅発症状がある。初発症状は安静を保てば自然に消退する程度のみまい，頭痛，たるさ，吐き気，おう吐，のどの刺激，

胸部圧迫感など。遅発症状は体を動かしたことをきっかけに現われ，急激に憎悪する喘鳴，呼吸困難，せき，胸痛，発熱などである。数日後に肺水腫，肺炎で死亡することもある。英国では副鼻腔や肺ガンを起こした例がある。

臭気限界3ppm

4. 他の分析方法

原子吸光法(NIOSH)

5. 用途及び発生場所

純ニッケル製造，重合触媒

6. 関係法令

安衛令(名称等表示，危険物)，特化則(特定第2類)，毒劇法(毒物)，大気法，高圧法(毒性)

7. 検知管の適用

